

# Central Daily Market Report

2021年7月16日(金)

セントラル短資株式会社 総合企画部

## ●資金需給

単位：億円	2021年7月16日		2021年7月19日		2021年7月20日	
	需給速報		需給予想		当社予想	
銀行券	▲ 800		▲ 1,000		▲ 1,000	
財政	1,900		10,800		▲ 16,000	
資金過不足	1,100		9,800		▲ 17,000	
<b>金融調節</b>						
	スタート	エンド	スタート	エンド	スタート	エンド
貸出						
全店共通						
国債買現						
国債売現						
国庫短期証買入						
国債買入						
CP等買入	5,000	▲ 500		▲ 500		
貸出支援基金(成)						
貸出支援基金(貸)						
被災地支援						
社債等買入						
新型コロナ対応金融支援特別						
ETF買入						
国債補充供給	▲ 100	500		100		
*ドル資金供給用担保提供供給						
当預増減	6,000		9,400		▲ 17,000	
当座預金残高	5,312,700		5,322,100		5,305,100	
準備預金残高	4,644,400					
積み終了先	4,642,300		7月19日以降の残り所要積立額			
超過準備	3,397,900		積数		8,300	
非準備預金先	668,300		1日平均		300	
積み期間(7/16~8/15)の所要準備額					3,747,800	
準備預金進捗率	実績	99.78%	日数	9.68%		

## ●2021年7月16日の市場動向

### <インターバンク市場>

本日の無担O/N物は、新しい積み期間に入り、スタートこそ様子見の姿勢が見られたものの調達ニーズは底堅く、結果的には昨日とほぼ横ばいでの取引となった。立ち上がりは▲0.055~▲0.02%程度の調達で始まり、一巡後も同水準の出合いが数件見られ、本日の取引を終えた。ターム物はショートタームでの引き合いが散見された。

### <レポ市場>

GC T/Nは、▲0.10~▲0.085%程度での出合い。SCはロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

### <短国市場>

本日のアウトライト市場は動意なく閑散な中、3M物に出合いが見られた。

### <CP市場>

CP発行市場は、複数の業態で大型発行が実施された。発行レートは、引き続き低位で推移した。

## ●入札結果

本日は財務省による国債等の入札は実施されませんでした。

## ●2021年7月19日の予定

\*月例経済報告

\*国庫短期証券(1009回)入札(1年、35,000億円、7/20発行)

## ●短期金融市場関連指標

2021/7/16	無担(速報)			有担(速報)			短国	東京レポレート	JGB新発10年債		日経平均株価		ドル/円	
	単位:%	最低	最高	平均	最低	最高			平均	直近値	前日比	15時時点	前日比	為替(9時)
O/N	▲ 0.080	0.001	▲ 0.035				-	▲ 0.087	0.015	0.005	28,003.08	▲ 276.01	109.77-78	110.16-17
T/N			▲ 0.001				-	▲ 0.088						
S/N			▲ 0.015				-	-						
1W	▲ 0.040	▲ 0.007	▲ 0.024				-	▲ 0.087						
2W	▲ 0.038	0.150	▲ 0.005				-	▲ 0.090						
3W			▲ 0.025				-	▲ 0.092						
1M			▲ 0.020				-	▲ 0.096						
3M							▲ 0.125	▲ 0.101						
6M							▲ 0.131	▲ 0.115						
1Y							▲ 0.120	▲ 0.129						
									日付	7/9	7/12	7/13	7/14	7/15
									日銀当預残	5,307,600	5,319,700	5,312,700	5,295,400	5,306,700
									準備預金残	4,680,900	4,679,500	4,670,800	4,656,300	4,665,100
									マネタリーベース	6,524,400	6,536,200	6,528,800	6,511,500	6,523,600
									無担O/N加重平均	▲ 0.034%	▲ 0.035%	▲ 0.038%	▲ 0.043%	▲ 0.037%
									コール市場残高	140,848	134,809	137,140	141,196	153,585
									うち無担	120,664	114,262	117,915	121,737	133,039
									うちO/N	65,068	60,386	63,579	67,351	81,453
									うち有担	20,184	20,547	19,225	19,459	20,546

## ●オペ結果

種類	オファー額 (億円・ 百万ドル)	スタート日	エンド日	貸付 利率	応札総額 (億円・ 百万ドル)	落札総額 (億円・ 百万ドル)	按分レート ・利回較差 ・価格較差	全取レート ・利回較差 ・価格較差	平均落札レート ・利回較差 ・価格較差	按分 比率
国債補充供給(国債売現先)・即日(午前オファー分)		2021/7/16	2021/7/19	▲ 0.350	84	84		▲ 0.350	▲ 0.350	
国債補充供給(国債売現先)・即日(午後オファー分)		2021/7/16	2021/7/19	▲ 0.350	0	0				

## ●日銀政策決定会合・結果

### ●当面の金融政策運営について

1. 日本銀行は、本日、政策委員会・金融政策決定会合において、以下のとおり決定。

(1) 長短金利操作(イールドカーブ・コントロール)(賛成8反対1)

次回金融政策決定会合までの金融市場調節方針は、以下のとおりとする。

短期金利: 日本銀行当座預金のうち政策金利残高に▲0.1%のマイナス金利を適用する。

長期金利: 10年物国債金利がゼロ程度で推移するよう、上限を設けず必要な金額の長期国債の買入れを行う。

(2) 資産買入れ方針(全員一致)

長期国債以外の資産の買入れについては、以下のとおりとする。

①ETFおよびJ-REITについては、それぞれ年間約12兆円・年間約1,800億円に相当する残高増加ベースを上限に、必要に応じて、買入れを行う。

②CP等、社債等については、2022年3月末までの間、合計で約20兆円の残高を上限に、買入れを行う。

2. また、前回の金融政策決定会合において導入することとした、気候変動関連分野での民間金融機関の多様な取り組みを支援するための新たな資金供給の仕組みについて、制度の骨子案を決定した(全員一致)。

3. 日本銀行は、2%の「物価安定の目標」の実現を目指し、これを安定的に持続するために必要な時点まで、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続する。

マネタリーベースについては、消費者物価指数(除く生鮮食品)の前年比上昇率の実績値が安定的に2%を超えるまで、拡大方針を継続する。引き続き、①新型コロナ対応資金繰り支援特別プログラム、②国債買入れやドルオペなどによる円貨および外貨の上限を設けない潤沢な供給、③それぞれ約12兆円および約1,800億円の年間増加ベースの上限のもとでのETFおよびJ-REITの買入れにより、企業等の資金繰り支援と金融市場の安定維持に努めていく。

当面、新型コロナウイルス感染症の影響を注視し、必要があれば、躊躇なく追加的な金融緩和措置を講じる。政策金利については、現在の長短金利の水準、または、それを下回る水準で推移することを想定している。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入